

# 近代産業—紡績・製糸・輸送

日清戦争の賠償金を基礎にした積極的な金融政策に導かれて、綿糸の生産「紡績」・生糸の生産「製糸」などが顕著な発達を遂げ、貿易のあり方を対欧米・対アジアの二局面構成に変化させていった。また、財政補助にも助けられて、海運業・鉄道業が伸張し、海陸の交通網を整備していった。

## ○ 紡績業—日本産業革命の中心

### ● 紡績の勃興

幕末以来、イギリス製綿製品の輸入に圧迫されて、

日本における綿花の栽培や綿糸・綿織物の生産は一時衰えた。

→しかし、綿織物生産は次の取り組みで次第に上向いた。

①織物の原料に輸入綿糸を使用

②ジョン＝ケイが発明した飛び杼を取り入れて手織機<sup>ておりばた</sup>を改良

⇒綿織物生産の上向きが、綿糸の生産（紡績<sup>ぼうせい</sup>）の勃興に繋がった。



図1 飛び杼

### ● 綿糸輸出の増加—日清戦争前後

手紡<sup>てつなぎ</sup>や<sup>(1)</sup> \_\_\_\_\_ が発明した<sup>(2)</sup> \_\_\_\_\_ で綿糸が生産された。

→1882年に<sup>(3)</sup> \_\_\_\_\_ らが設立した<sup>(4)</sup> \_\_\_\_\_ は、  
<sup>(5)</sup> \_\_\_\_\_ を動力としたミュール紡績機による大規模経営に成功した。

⇒このような紡績機械を用いた工場が相次いで設立され、生産が拡大した。

◇(5) …内国勸業博覧会で最高賞を獲得し、改良後、愛知県を中心に普及

<<sup>(6)</sup> \_\_\_\_\_ 戦争前>

1890年、綿糸の生産量が輸入量を上回り、中国・朝鮮への輸出が増えた。

<<sup>(7)</sup> \_\_\_\_\_ 戦争後>

1897年、綿糸の輸出量が輸入量を上回った（原料の綿花の輸入も増加）。

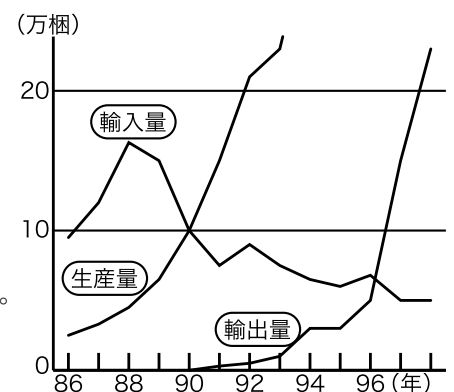


図2 綿糸の生産と輸出入

### ● 綿織物輸出も増加—日露戦争後

紡績会社：輸入の大型力織機<sup>りきしよつき</sup>で綿織物を盛んに生産

農村：<sup>(8)</sup> \_\_\_\_\_ らが考案した国産の小型力織機の導入で、

手織機による問屋制家内工業が機械生産の小工場に転換

⇒1909年、綿織物の輸出額が輸入額を超えた。

### ● 依然とした原料の輸入

原料の綿花は、インド・中国・アメリカなどからの輸入に依存した。

⇒特に安価なインド産の輸入は多く、綿業に関する貿易は輸入超過であった。



図3 豊田佐吉の力織機

## ○ 製糸業—外貨獲得の中心産業

### ● 製糸の発達

幕末以来、<sup>(9)</sup> \_\_\_\_\_ は最大の輸出品であった。

⇒生糸<sup>きいと</sup>の生産（製糸）は欧米向けの輸出産業として急速に発達した。

## ●製糸技術の発達

当初、簡単な手動装置による<sup>(10)</sup> \_\_\_\_\_ 製糸が普及していた。

→輸入器械を改良した<sup>(11)</sup> \_\_\_\_\_ 製糸の小工場が、

長野県・山梨県などのなどの農村地帯に続々と生まれた。

⇒生糸の原料である繭<sup>まゆ</sup>を供給する養蚕<sup>ようさん</sup>農家も増加した。

## ●輸出増加

<<sup>(12)</sup> \_\_\_\_\_ 戦争頃>

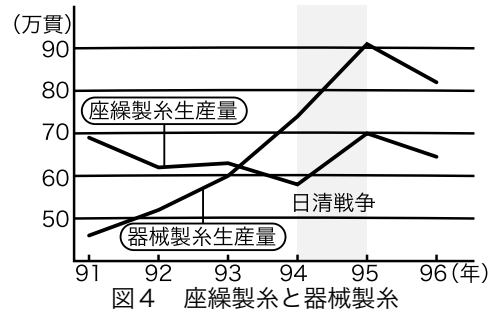
<sup>(13)</sup> \_\_\_\_\_ 製糸の生産量が、<sup>(14)</sup> \_\_\_\_\_ 製糸の生産量を上回った。

⇒生糸を原料とする絹織物の生産も盛んになり、力織機も導入された。

<日露戦争後>

<sup>(15)</sup> \_\_\_\_\_ 向けを中心に、生糸輸出がさらに伸びた。

⇒1909年、清を追い越し、日本は世界最大の生糸輸出国となった。



## ○輸送業

### ●海運業

綿花などの原料品や機械・鉄などの重工業製品の輸入が増加し、

日本は大幅な輸入超過（赤字）であった。

→貿易では、特殊銀行である横浜正金銀行や、

三井物産会社などの商社が重要な役割を果たした。

⇒また、<sup>(16)</sup> \_\_\_\_\_ が次の海運業奨励の法令に助けられ、

インドへのボンベイ航路、欧・米・豪への遠洋航路を開いた。

①1896年、<sup>(17)</sup> \_\_\_\_\_ 公布

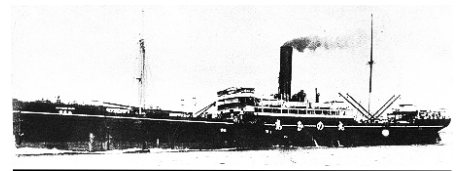
…700トン以上の鋼鉄製汽船建造に助成金を給与する法令

②1896年、<sup>(18)</sup> \_\_\_\_\_ 公布

…1000トン・速力10ノット以上の鋼鉄汽船に奨励金を交付する法令

◇ボンベイ航路…インド産の綿花の大量輸入を可能にした日本初の遠洋航路

◇(16) …<sup>(19)</sup> \_\_\_\_\_ と半官半民の<sup>(20)</sup> \_\_\_\_\_ の合併した会社



信濃丸（6388トン・11.9ノット）

日本郵船会社の貨客船で、日露戦争の際には徴用され、巡洋艦としての兵装を施された。1905年の日本海海戦でバルチック艦隊を発見するという大勲功を立てた。「敵艦見ユ」の打電で知られる。

### ●鉄道業

1881年、<sup>(21)</sup> \_\_\_\_\_ の出資で<sup>(22)</sup> \_\_\_\_\_ が設立された。

→政府の保護を受け、商人や地主による会社設立ブームが起こった。

⇒日清戦争前の1889年、東京・神戸間を官営の東海道線が全通したが、

民営鉄道は営業キロ数で官営を上回っていた。

1906年、<sup>(23)</sup> \_\_\_\_\_ 公布

…第1次<sup>(24)</sup> \_\_\_\_\_ 内閣の時に公布

…軍事的必要から鉄道輸送の画一化を目指し、鉄道を国有化した法令

…国は民営鉄道17社を買収し、全国の鉄道の91%を国有化

売却した者は、得た資金を重工業に投資していった。

